



## 2019年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月4日

上場会社名 株式会社ジーフット 上場取引所 東 名  
 コード番号 2686 URL http://www.g-foot.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀江泰文  
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長 (氏名) 村瀬透 TEL 03-5566-8215  
 四半期報告書提出予定日 2018年7月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年2月期第1四半期の連結業績（2018年3月1日～2018年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第1四半期	27,208	—	1,213	—	1,207	—	705	—
2018年2月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2019年2月期第1四半期 720百万円 (-%) 2018年2月期第1四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第1四半期	16.59	16.58
2018年2月期第1四半期	—	—

(注) 2019年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2018年2月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年2月期第1四半期	63,286	25,914	40.9	608.74
2018年2月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 2019年2月期第1四半期 25,895百万円 2018年2月期 -百万円

(注) 2019年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2018年2月期の数値については記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2019年2月期	—	—	—	—	—
2019年2月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年2月期の連結業績予想（2018年3月1日～2019年2月28日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	—	2,700	—	2,700	—	900	—	21.16

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2019年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年2月期1Q	42,550,900株	2018年2月期	42,538,000株
② 期末自己株式数	2019年2月期1Q	12,284株	2018年2月期	12,284株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年2月期1Q	42,531,605株	2018年2月期1Q	42,520,716株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については〔添付資料〕P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、当第1四半期連結会計期間から四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期等との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年3月1日～2018年5月31日)における我が国の経済は、企業収益が堅調に推移するとともに、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながらファッション物販の消費においては、少子高齢化で実需型消費が先細りするとともに、将来への不安から依然として個人消費は伸び悩み、先行き不透明な状況が続いています。また、靴小売業界においても他業種からの靴小売事業への参入やEコマースの急成長により消費チャネルがより多様化し、競争はますます激化し経営環境は厳しさを増しております。

このような環境に対応すべく当社グループは、前事業年度の大幅な減益から新たな成長に向けた事業構造改革を実施し、「商品の改革」「売場の改革」「人の改革」の3つの改革を軸とした経営戦略を進めてまいりました。

とりわけ最重点施策である「商品の改革」については、ボトルネックである在庫の計画的な削減、仕入れの適正化とともに、お客さま本位のMD(マーチャндаイジング)プロセスの改革により、履きやすさ・履き心地を基軸とした商品開発を行い、また、スポーツ庁の官民連携プロジェクトである「FUN+WALK」と連動して健康・快適を意識したカジュアル商品を提案し機能を高めたパンプス・ビジネスシューズが好調に推移しました。

上記の取組みにより、婦人靴は定番商品を中心に売上が堅実に推移したものの、ファッションのシーズンレス化の影響と天候不順により季節商品が低迷したことや、NB(ナショナルブランド)スポーツ靴の品揃えが不十分であったことが影響し、売上減少トレンドに歯止めをかけることができませんでした。

売上総利益率につきましては、商品コントロールの強化とPB(プライベートブランド)商品の再構築により47.5%と改善いたしました。

出退店につきましては、アスビーイオンモール座間店など11店舗を出店し、一方で不採算店舗を中心に3店舗を退店し、これらにより当第1四半期末におけるグループの店舗数は940店舗(国内906店舗、中国34店舗)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高272億8百万円、営業利益12億13百万円、経常利益12億7百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は減損損失など特別損失を1億32百万円計上しており、7億5百万円となりました。

当社グループはセグメント情報を記載しておりませんが、商品別売上状況は次のとおりであります。

商品別売上状況

商品別	売上高(百万円)	構成比(%)
婦人靴	6,205	22.8
紳士靴	4,080	15.0
スポーツ靴	9,442	34.7
子供靴	5,792	21.3
その他	1,687	6.2
合計	27,208	100.0

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は632億86百万円となりました。

主な内訳は、現金及び預金17億61百万円、売上預け金37億80百万円、商品404億15百万円、建物及び構築物37億28百万円、敷金及び保証金63億41百万円であります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債は373億72百万円となりました。

主な内訳は、支払手形10億74百万円、電子記録債務146億48百万円、買掛金56億21百万円、短期借入金68億円であります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産は259億14百万円となりました。

主な内訳は、資本金37億54百万円、資本剰余金35億85百万円、利益剰余金176億19百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2018年6月20日の「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

当第1四半期連結会計期間 (2018年5月31日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,761
売掛金	329
売上預け金	3,780
商品	40,415
その他	2,194
流動資産合計	48,480
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	3,728
その他(純額)	1,127
有形固定資産合計	4,856
無形固定資産	308
投資その他の資産	
敷金及び保証金	6,341
その他	3,300
投資その他の資産合計	9,641
固定資産合計	14,805
資産合計	63,286
<b>負債の部</b>	
流動負債	
支払手形	1,074
電子記録債務	14,648
買掛金	5,621
短期借入金	6,800
1年内返済予定の長期借入金	1,375
未払法人税等	625
ポイント引当金	93
賞与引当金	551
その他	3,046
流動負債合計	33,837
固定負債	
長期借入金	1,859
退職給付に係る負債	385
資産除去債務	1,231
その他	57
固定負債合計	3,535
負債合計	37,372
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	3,754
資本剰余金	3,585
利益剰余金	17,619
自己株式	△4
株主資本合計	24,955
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	1,094
為替換算調整勘定	50
退職給付に係る調整累計額	△205
その他の包括利益累計額合計	940
新株予約権	18
純資産合計	25,914
負債純資産合計	63,286

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)
売上高	27,208
売上原価	14,294
売上総利益	12,914
販売費及び一般管理費	11,700
営業利益	1,213
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	5
その他	1
営業外収益合計	7
営業外費用	
支払利息	13
営業外費用合計	13
経常利益	1,207
特別損失	
固定資産除却損	10
減損損失	119
その他	2
特別損失合計	132
税金等調整前四半期純利益	1,074
法人税、住民税及び事業税	504
法人税等調整額	△135
法人税等合計	368
四半期純利益	705
親会社株主に帰属する四半期純利益	705

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

		当第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)
四半期純利益		705
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		10
為替換算調整勘定		△4
退職給付に係る調整額		8
その他の包括利益合計		15
四半期包括利益		720
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		720
非支配株主に係る四半期包括利益		-



(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社の異動についての該当事項はありません。

なお、当第1四半期連結会計期間において、株式会社プレステージシューズ及び新脚步(北京)商貿有限公司の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。